

## 県土砂災害防止絵画コンクール

### 3年生が優秀賞 1年生が入選を受賞！

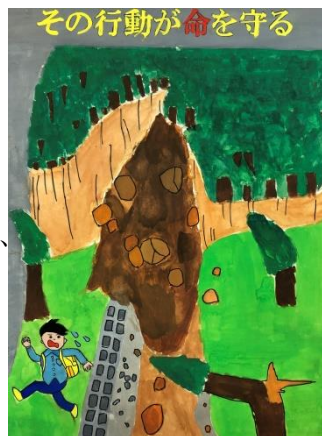
7月12日から24日まで、選択制で取り組んだ県の土砂災害防止絵画(本校より3年1名、1年4名、計5名出品)において、3年生が**第二席の優秀賞**を、1年生が**第三席の入選を受賞**しました

**3年生の作品**は、土砂崩れが起きて家屋のすぐ近くまで土砂や倒木が迫り、あわてて避難する人たちを描いています。住人たちが協力して声を掛け合い、子どもと手をつなごうとしている姿からは命を守ろうとする緊迫感が感じられます。



優秀賞 3年

**1年生の作品**は、緑に覆われた山林の土砂が大きく崩れ、道をふさぎ、急いで避難している人物を描きました。土砂や倒木の描き方は象徴的でイラスト風ですが、人物との統一感があって、わかりやすく伝わりやすいポスターになっています。



入選 1年

## 現実をとらえて、何をどう伝えるか

6年前、同じテーマのポスター制作で生徒は各地の土砂災害の資料をインターネット等で集めて作品を完成させました。直後の8月20日未明に広島市安佐南、安佐北両区で、局地的に猛烈な雨が降り、南北約15キロにわたって10か所以上の土砂崩れが発生しました。広島市安佐南区八木の付近では住宅の裏山が広く崩れ、複数の住宅が土砂に巻き込まれました。

そして、近年は度重なる台風により、甚大な被害があり、降雨による水害や土砂災害の恐さが全国民に伝わりました。もはや、どこでも起こりうる災害にどう備え、どう避難すべきかを考えることが日本の大きな課題となっています。

自分たちの制作と「命を守る力」とつなげて考えることはあまりなかったかもしれません。これら受賞作のように、深くテーマを掘り下げ、私たちが現実をどうとらえて、何を伝えればいいのかを考える大切な機会になったようにも思います。普段からの人やものを見つめる心の温かさが作品に表れていくと感じています。

## 「県土砂災害防止絵画コンクール」の校内表彰

11月10日(火)の昼休みに校内表彰を行いました。校長先生から表彰状と記念品を贈呈していただき、喜びの感想を述べました。

